

# 県庁舎建設の設計について

## 1 設計条件

### (1) 設計の方針

平成28年3月策定の「県庁舎再整備基本構想」の5つの基本方針を具現化

#### <基本方針>

- 県民の暮らしを守る、安全・安心な県庁舎  
高い耐震性・安全性／危機管理機能充実／適切なセキュリティ
- 県民が集い、県民に親しまれる県庁舎  
風格と親しみやすさ／利便性の高い開かれた庁舎／ユニバーサルデザイン
- 質の高い行政サービスを提供する県庁舎  
働きやすい執務環境／フレキシビリティ
- ライフサイクルコストに配慮した長寿命な県庁舎  
ライフサイクルコスト低減／長寿命な庁舎
- 環境共生・低炭素型の県庁舎  
省エネルギー・省資源対策／再生可能エネルギーと資源の有効活用

### (2) 敷地条件

計画地	岐阜市藪田南 地内	敷地面積	約 159,000 m <sup>2</sup>
区域区分	市街化区域	用途地域	商業地域
建ぺい率	80%	容積率	400%
防火地域	準防火地域		

### (3) 想定職員数・議員数

- 職員数は、現庁舎勤務人数2,400人程度を基準
- 議員数は、条例の議員定数46人を基準

### (4) 事業費

- 新庁舎建設工事費は、約500～550億円  
(新庁舎建設工事費の他に、設計・監理費、移転費、現庁舎の解体費、外構の整備費等を想定)

### (5) スケジュール（最短の場合）

区分	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
設計	設計者選定 H28.9	基本設計 H29.9頃	実施設計 H30.9頃				
工事			入札・契約		(約36ヶ月)	行政棟・議会棟	
移転							(約6ヶ月)

※行政棟と議会棟の供用開始後は、現庁舎を解体し、県民サービス棟を建設する予定

## 2 新庁舎の規模等

- 求められる性能・機能を満たすために必要な面積等を算出  
〔基本構想では、行政棟・県民サービス棟約76,000m<sup>2</sup>（警察機能除く）、  
議会棟約13,000m<sup>2</sup>と記載〕

棟名称	行政棟	議会棟	県民サービス棟	計
延床面積	約 66,000 m <sup>2</sup>	約 13,000 m <sup>2</sup>	約 12,000 m <sup>2</sup>	約 91,000 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨造 免震構造	鉄骨造 耐震構造	鉄骨造 耐震構造	
階数 (最高高)	地上 20 階程度 (約 100m)	地上 5 階程度 (約 30m)	地上 4 階程度 (約 20m)	

《現庁舎延床面積》 行政棟…47,158 m<sup>2</sup>、議会棟…9,038 m<sup>2</sup>